



ENY ニュース

「エコペン」は、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

TEL : 023-679-3340 FAX : 023-679-3389

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp WEB : https://eny.jp/

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3-2-37

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

デコ活
くらしの中のエコろがけ

令和6年度 環境ネットやまがた通常総会 開催

令和6年5月25日(土)13:30から、山形エコハウスにおいて、令和6年度通常総会を開催しました。環境省東北地方環境事務所様や山形県環境企画課様などをご来賓としてお招きしました。

総会は、河合代表の挨拶の後、河合代表が議長となり議事に入り、議事は、第1号議案から第3号議案まで、全て満場一致で議決成立し、お陰様で無事に終えることができました。

また、総会後には、職員による活動報告会を開催しました。各自の担当事業について、令和5年度の実施内容、令和6年度の計画を説明し、会員の皆様からも質問やアドバイスなどいただきました。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けがインフルエンザと同じ5類に位置付けられたことにより、イベント等が通常通りに開催されました。環境ネットやまがたの事業もイベント、研修、セミナー等々実施し、会員の皆様のお陰で無事に終えることができました。そして何より、環境ネットやまがたは無事に20周年を迎えることができました。

令和6年度も始まり、たくさんの事業を内容を充実させ、取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願ひします。



「環境省 地域脱炭素推進交付金(重点対策加速化事業)に 山形市、長井市が採択されました」

国では、2030年度温室効果ガス排出削減目標及び2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、地方公共団体・企業・住民が主体となって、排出削減の取組を進めることが必要と考え、交付金を設けています。そして、その中の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」では、地域のニーズ・創意工夫を踏まえて、全国津々浦々で取り組むことが望ましい「重点対策」を複合的に組み合わせ合わせた複数年にわたる意欲的な計画を加速的に実施する取組に対して支援が行われています。

この度、令和6年5月24日の採択で、山形県内では、山形市、長井市の取組みが採択を受けました。市民向けの補助金などもありますので、各市のホームページや広報誌などをご確認ください。

また、山形県は、令和4年度に「やまがた省エネ健康住宅・再エネ設備パッケージ補助事業」が採択され、今年度も補助金の募集を行っています。



令和6年度山形県環境保全協議会通常総会等を 開催しました。

令和6年6月5日(水)「世界環境デー」に山形県環境保全協議会通常総会をホテルメトロポリタン山形において開催しました。

総会開催後は、山形県と共催で「カーボンニュートルやまがた県民運動推進大会」が開催され「令和6年度環境保全推進賞」の表彰や、記念講演会を実施しました。記念講演会では、東京大学先端科学技術研究センター教授 河野龍興様から「水素エネルギー社会実現に向けて」と題してご講演いただきました。

＜令和6年度山形県環境保全推進賞受賞企業＞

山形県知事賞	株式会社小嶋総本店 東北イートップ株式会社 山形パナソニック株式会社
環境保全推進賞	アルス株式会社 株式会社エルデック 荘内電気設備株式会社 株式会社ニチレイフーズ山形工場 ベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社 マルハニチロ株式会社大江工場 株式会社米沢食肉公社



エコアクション21 事業について

昨年度まで11月に開催していた認証登録事業者向けのフォローアップセミナーを、青森県、山形県の2会場で6月に開催いたしました。アドバイザー派遣や毎月第三金曜日の個別相談会にも、既に申し込みが来ております。

7月からは新規事業者向けの研修会もスタートする他、東北各地での普及推進活動、審査員向け研修会の開催などを予定しております。

昨年度に引き続き、今年度も東北6県の普及・広報事業、認証登録事業所のサポート等を行なってまいります。



認証登録10年継続事業所様
への感謝状贈呈式
(山形会場)

「省エネお助け隊による省エネ診断・支援の募集」

本事業は、「令和6年度中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費」の内、「地域エネルギー利用最適化取組支援事業」(省エネお助け隊)に基づく事業になります。

本事業は、2030年度の最終エネルギー需要に対し、徹底した省エネ等対策を実施することで、6,200万kWh程度のエネルギーを削減し、さらに2050年までにカーボンニュートルを実現することが目標に掲げられています。

一方、中小企業の多くが省エネ法の規制を受けていないため、エネルギー管理士等の専門家の設置が義務付けられておらず、省エネのノウハウが不足している状況です。本事業は、そういった中小企業の皆様に専門家を派遣して省エネを推進していただくものです。

最近のエネルギー事情は電気料金の値上げをはじめ、あらゆるエネルギーコストが上昇しています。省エネを進めることは、カーボンニュートルを推進するとともに無駄なコストを削減することにもなります。「省エネ診断」「省エネ伴走支援」に関することなら何でも「省エネお助け隊」にご相談ください。

「やまがた未来くる エネルギー補助金」

令和6年度の募集が3月から開始し、7月1日までの受付を行いました。

募集内容は、蓄電設備(太陽光発電設備と同時設置)がFITと非FITの2種類、バイオマスストーブ、地中熱利用設備が空調と融雪の2種類となっております。このうち、バイオマスストーブに「やまがた省エネ健康住宅」の申請と併用の場合は、補助金額が増額になるプランが新しく追加になりました。

これらで生み出されたCO2削減効果を取りまとめ、国のJ-クレジット制度を活用して、その環境価値を「見える化」とするとともに、環境価値の取引により得られる収益を県内の環境保全事業に活用されています。

8月3日(土)13時30分～、山形ビッグウイングで、『夏休み講座「天気の人・アマタツと学ぶ地球温暖化」』を開催します。お天気の達人であるアマタツさんと一緒に、実験や工作などを通して、地球温暖化について学びましょう！

参加ご希望の方は、事前にお申し込みください。(案内チラシは、環境ネットやまがたHPでご覧ください)

省エネ住宅のセミナー、見学会開催

カーボンニュートラル社会実現のためには、省エネ住宅の普及が必要不可欠です。住宅の断熱・気密性能を高め、夏涼しく冬暖かい住宅にする、そして太陽光発電パネルや木質バイオマスなどの再生可能エネルギー設備を活用することで、カーボンニュートラルハウスができます。

国でも省エネ住宅の推進を図っており、建築物省エネ法の改正により、2025年4月からは原則すべての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合が義務付けられます。

また、山形県では、「やまがた省エネ健康住宅」認定制度を行っています。最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅です。

私たちは、その普及のため、令和5年度には山形県委託事業として、県民向け、事業者向けにそれぞれ講座や見学会、研修会を開催しました。

令和6年度も県民向けの講座、見学会、事業者向けの研修会、現場研修会を開催予定です。日程が決まり次第ご案内しますので、ぜひご参加ください。



山形県産業科学館魅力UP 作戦開始

若い人たちの柔軟なアイデアを活かし、山形県産業科学館のイメージをわかりやすく、かつ親しみやすい施設として全国に発信できるフオトスポットを3階企業展示ブースの一角に設置することになりました。県内企業の魅力に気付いてもらい、館全体の利用者の増加にもつなげていきたいと考え、山形工業高校建築科3年生に依頼しました。

5月17日(金)第1回目の打ち合わせ会が開かれ、実際の展示ブースの採寸や製作イメージの共有を行い、8月中に具体的な製作プランのプレゼンテーションを行ってもらうことになりました。完成とお披露目は、11月中を予定しています。



山形県環境科学研究センターでの活動について

山形県環境科学研究センター環境情報棟の管理運営を行うとともに、環境教育の普及促進業務を実施します。今年度も引き続き、将来を担う小学生をターゲットとして「小学校向け環境教育」を拡充することにチャレンジしています。

この度考案した小学校向け「総合学習サポート」というプログラムを積極的に実施していきます。総合的な学習の時間で「環境問題」をテーマに選択された場合、座学・体験・調べ学習などを通して、自分たちが行動すべきことを考える等のお手伝いにより、児童たちのもとより先生方を手厚くサポートします。

令和5年度までの実績

単位:件

件数	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
アドバイザー派遣	23	27	32	6	15	21	15
推進員派遣	45	51	46	18	26	20	26
環境教室(派遣)	48	95	78	89	112	138	127
環境教室(所内)	20	17	15	11	18	22	10
出展・自主事業等	16	10	8	1	3	5	10
合計	152	200	179	125	174	206	188

👉 👉 👉

小学校向けの件数⇒ 21 27 37 54 65 83 **80**

小学校への出前授業だけでなく、来館による「体験型校外学習」プログラムもあります。



社会「水はどこから」のふりかえり、実験あり



廃ろうそくを使ったエコキャンドル作り

★山形県産業科学館 新館長のご紹介 ～加藤 智一さん～



今年4月から山形県産業科学館館長を務めさせていただくことになりました。昨年度までは山形工業高校や米沢工業高校で教段に立ちながら、環境ネットやまがた会員として監事をお引き受けし、山形県地球温暖化防止活動推進員としては「エコカップやまがた」の司会や「地球温暖化防止活動推進員候補者研修」、「高校生・大学生を対象にした脱炭素社会実現に向けた行動変容推進事業」などのコーディネーターを務めてまいりました。

山形県産業科学館は、今年度 24 年目を迎え、これまでに来館されたお客様は約 630 万人にのぼります。県内で唯一、科学と山形県の産業を体験的に学べる施設として、常に新しさを追及する気持ちを忘れずに、館の運営に邁進努力してまいります。

★スタッフ紹介★ それぞれの活動場所ごとに一言コメントなど。

<山形エコハウス>



(大場事務局長)
5、6月の総会シーズンが終わり、いよいよ本格的な活動の開始です。本年度も皆様のご支援、ご協力、よろしくお願いします。



(長岡事務局次長)
今年も省エネお助け隊と再エネの担当です。よろしくお願ひします。



(河合主任)
先日、産業科学館で開催された「スライム作り」に娘のお友達総勢 10 名で押しかけていきました(笑)



(二藤部主任)
今年度も色んなところに出かけていきます。(とうかさすでに出かけています…)



(菊地)
6月時点で既に暑くなっており、毎日の服装に苦慮しっぱなしです……



(佐藤)
今年も暑そうな夏、快食・快眠・少しの運動でのりきります。

<山形県環境科学研究センター 情報棟>

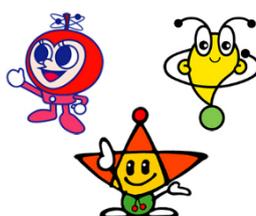


(安藤主任)
これからも環境学習の普及促進頑張ります。



(吉田)
楽しんで体験してもらえるよう準備しています。

<山形県産業科学館>



館長のもと、合計 11 名の職員で頑張っています。現在、ガイドボランティアを募集しています。皆様、ぜひお申し込みください。詳細は山形県産業科学館まで。

入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

♪編集後記♪

会報誌がやっと 30 号になりました。最初は年 1 回の発行だった気がします。途中から年 2 回になり。環境ネットやまがたが行っている事業のほんの一部の紹介ですが、皆さんにお読みいただけたらうれしいです。(N)

★メルマガ・フェイスブック開設しています★

環境ネットやまがたでは、メルマガ(月 1 回配信)やフェイスブックでイベントなどの情報を配信しています。メルマガ購読希望の方は以下のアドレスまでご連絡ください。

Email eny@chive.ocn.ne.jp

また、フェイスブックなどではイベント会場などからアップしています。ぜひ、「いいね」をお願いします♪



フェイスブック



インスタグラム

